

# めぐみ

2023年  
10月号

学校法人 聖公会北関東学園  
認定こども園  
初雁幼稚園  
〒350-0057 川越市大手町 8-5  
Tel.222-5385 Fax 228-5010  
E-mail hatsukari-kg@nifty.com

## 神様からの「めぐみ」

補助教諭 佐藤 翠



幼少期、私は家庭の都合で幼稚園に行っていませんでした。兄弟3人ともです。なので、近所の子どもたちが多く通う、パステルカラーの幼稚園の遊具が魅力的で、いつか遊んでみたいと思っていました。

放課後になると、お稽古の教室で賑わっていた幼稚園でしたので、出入り自由に見えてしまった私…友だちと無断で入り遊んでいると、園の先生にきつ〜く怒られてしまいました。

そんな幼少期を経て、正式に幼稚園へ入る事が許されたのは、初雁幼稚園での教育実習でした。

当時の旧園舎は、床がギシギシと鳴り、

パステルカラーの幼稚園とは真逆の雰囲気でしたが、先生たちは優しく、決して怒鳴ったりせず、子どもたちものびのび楽しそう。「私はこういう幼稚園が好きだなあ」と思いました。

そして、野澤先生が園長先生、由香里先生が年少組の担任をされていました。私の実習日誌はあまりにひどいものでしたが、由香里先生からコメント欄いっぱい、優しく丁寧にご指導いただいたものは貴重で、今でも大切な宝物となっています。

その後、実習をきっかけに、川越のキリスト教保育の園に就職しました。同じ川越なので、研修等でも初雁幼稚園とのつながりがありました。

仕事を辞めてからは、夫が転勤族のため川越とは疎遠になってしまいましたが、東京→大阪→東京と巡り、10年程経った頃、思いがけず狭山市への異動命令。実家が日高市だった私にはありがたいはずだったのですが、すでに長女は年長、次女も同じ園にと思っていたので、それまで築いてきた友だちとの別れの方がつらく、私はすっかり気落ちして、先のことが考えられずにいました。

物件探しは夫任せ。無気力のまま下見に連れて行かれた先は、川越でした。見えてきた川越の街、喜多院。久しぶりすぎて位置関係が曖昧…。「あれ？この辺、初雁幼稚園に近くない？」そう思うと、急に意識を取り戻してホームページを検索。すると、新しい園舎！由香里先生が園長先生に！タイムスリップしたようでした。これは何かのご縁だと思い、次女をお願いしようと即決することができました。

物件下見の帰り道、雨上がりの虹が架かっていたのを見て不思議な気持ちになったのは、嘘のような本当の話。実習園というご縁から今に至るまでを思うと、神さまに導いて頂いたように思えてなりません。子どもの頃幼稚園に行けなかった分、行きたかった思いを叶えてくださったのでしょうか?!転勤族の家族は悩ましい事も多いのですが、初雁幼稚園を通して、多くの方との繋がりや仕事をいただいたことは、恐れ多くも私にとって、神様からの「めぐみ」です。

これからも、感謝の気持ちを忘れず、祈りながら過ごしていきたいと思います。

# 今月の保育目標と予定

## ☆保育目標☆

今月のテーマ  
「つながって」

### 今月のねがい

- さまざまな方法に挑戦し、失敗を重ねながら過ごす
- 友だちという楽しさを重ねていく
- 神様のくださっている力を出し合い、ともに過ごす

### 学年別のねがい

- (1歳) 友だちの存在を感じ、いろいろなことをしてみようとする
- (2歳・満3歳) 周りの友だちに目を向ける  
(年少組) 周りの友だちに目を向けて取り組む  
(年中組) 友だちと力を合わせる  
(年長組) お互いの思いや存在を大切にする

### ひとこと

猛暑の日々がやっと終わり、過ごしやすい季節になりました。保育部は毎日元気に散歩に出かけていきます。幼児部は鬼ごっこをしたり、リレーごっこをしたり、夢中で走りまわって汗を流しています。鬼ごっこもリレーも友だちなしではできません。トラブルが起こればみんなで話し合い、よりよい方法を考え合います。友だちと一緒にいることでいろいろな刺激を受け、豊かな経験を重ねている子どもたち。気持ちの良い10月、神様のくださった力を出し合い、友だちとともにいる楽しさをたくさん味わってほしいと思います。

### 今月の聖歌

「主イエスはまことのぶどうの木」

### 今月の歌

「きのこ」

## ★予 定★

日	曜	行事などの予定
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	開園記念日 就労家庭保育実施日
5	木	アルミ缶回収
6	金	全体礼拝 ↓
7	土	幼児部運動会(予備日10日) 職員会議⑤
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	振替休園 就労家庭保育実施日
11	水	入園説明会
12	木	おはなしの会(年中長組)
13	金	全体礼拝
14	土	就労家庭保育実施日
15	日	
16	月	幼児部個人面談週間(～27日)
17	火	幼児部パパママ先生(希望者)
18	水	
19	木	
20	金	全体礼拝
21	土	就労家庭保育実施日
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	10月生まれ誕生会
26	木	年長園外保育(予備日11/2に変更)
27	金	全体礼拝
28	土	就労家庭保育実施日 保護者・教職員交流会(希望者)
29	日	
30	月	
31	火	



# チャプレンのページ

## 神様の教えへの芽生え



信仰の薄い者たちよ

マタイによる福音書 第6章 30節

今春の定期健診で、精密検査および治療を勧められたことを皆様にお話し、大変ご心配をおかけしましたが、8月中に1週間入院して治療を受け、無事に終えることができました。組織検査の結果良形で、胃がんの疑いを晴らすことができました。ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

病室は4人部屋でしたが、入退院が多いのに驚きました。同室だけでも入院した翌日に1人退院し、その翌日には2人退院して私1人が残されることになりました。

その代わり別の部屋から1人移動してきて、次の日には2人入院、また4人になりましたが、この2人の方は翌日が手術、その次の日には退院されることが決まっていました。そしてこの方々が退院されるのと入れ替わりに、幼稚園の卒業生保護者の方が入院してこれ大驚きでしたが、経過順調とのことで私より5分早く退院されました。

退院といっても治療を終えて退院されるのは半分ぐらいで、入院可能期間が経過したため、まだ自分の体調に自信が持てないにもかかわらず退院される方も多く、現代社会の縮図を見るような思いでした。

また、看護師の先輩が、「針が出しっぱなしで危ないので、今後注意するように」と注意していましたが、後輩は、「私は出しっぱなしにしていない」の一点張りで、話を聞こうとしない様子でした。自分が至らなかったことを率直に認めることこそ大切だと、言ってやりたい気持ちになりましたけれども、入院患者であるうちは教師ではありませんので、何も言わず、退院の日を待ち続けました。

幼稚園で教えているのと同じことを大人になっても、伝えねばならないのに愕然とする思いでした。

冒頭の聖句は、イエス様が弟子たちに対して言われた言葉で、新約聖書中5カ所に登場する言葉になります。見るからに印象悪く、イエス様から叱られているような、あるいは、まだまだ未熟だと言われているような言葉ですが、もとのギリシア語をしてみると、決して叱られたり未熟さを指摘されたりするような言葉ではなく、「ささやかな信仰を持つ者」「信仰の芽が出て、これから伸びていこうとする者」という意味になります。叱られるのではなく、慈しみにあふれた未来への招きの言葉であると言えます。

聖書の教えには厳しい内容もたしかにあります。大きな決断を促される内容もあります。事実、神様の導きのもとにそうした決断に立ち向かってきた人たちの物語がたくさん書かれています。しかしその基本にあるのは、これから成長していく者、未来に向かって歩み続ける者への愛にあふれた導きです。教育・養育にも密接にかかわる聖書の言葉に、これからも耳を傾けていきたいと思えます。

(鈴木 伸明)

# ま と クラスの窓



## つくし組

### 寝る子は育つ

秋らしい日がやってきて戸外へ遊びへ行くことができるようになりました。バギーに乗って散歩へ出ていた1学期。今では「歩くー！」と猛アピールするほどで保育者や友だちと手をつないで散歩を楽しんでいます。午前中の活動が終わるとおいしい給食、そしてお昼寝。入園当初は午前寝をする子がいたり、「寝ませんよ～」とがんばっていた子どもたち。トントンで寝たり、抱っこで寝たり一人一人にあった入眠方法でまずは安心して眠れる環境を整えてきました。今では自分から布団にゴロンとしています（布団の上で運動会が始まることありますが…）。「あんぱん（のオルゴール）がいい」、「お人形がいい」といろいろなリクエストがあり1時間半～3時間ゆっくり休むことができます。園が安心して眠れる場所になってくれて嬉しく思います。すぐに「パチッ！」と起きる子、起きてからも布団の上でしばらくまどろんでいる子とさまざまです。早めに目が覚めたらもも組で遊んで過ごします。憧れのもも組の子と一緒に遊ぶ時間はお楽しみの時間でもあります。ゆっくり休みエネルギーをチャージし、午後も元気いっぱいなつくし組です！

## もも組

### 散歩って！

今年の夏はととても暑く、プール三昧！どの子も肌の色がこんがり良い色に焼けたもも組。9月に入っても暑い日が続き散歩にはなかなか行けずにいました。最近になり暑さもやっと和らぎ散歩日和の日々が戻ってきました!!

初雁公園、浮島神社、通町公園など子どもたちが大好きな遊び場所です。公園に着くまでもいろいろな発見、楽しみがあります。「今日は郵便車3台だったね」とお話したり、葉っぱにカマキリがいるとじっと観察する子、「きゃー！こわいよ。やだよー」と後退りするなど。また公園の名前は覚えなくても、「汽車、山登りができる」＝初雁公園、「亀がいる、太鼓か時々なってる」＝成田山など暗号のように覚えているのも、もも組ならではかもしれません。

公園に着いてからはお茶休憩をして遊びます。遊具で遊んだり、追いかっこをしたり、トンボを捕まえようとしていたり…思い思いの遊びを楽しんでいます。喜多院公園からは、「見て！お土産こんなにあったよ」と袋いっぱいのどんぐりや実を持って帰ってきました。これからの時期、散歩先でたくさん遊び、またいろいろなお土産を持って帰ってきそうな予感がします！

## ちゅうりっぷ組

### どの子もみんな「大切な友だち」に

夏の間、ちゅうりっぷ組の子たちはたんぼぼ組、すみれ組の友だちに集団遊びをたくさん教わりました。だるまさんがころんだ、かわごえ、はないちもんめなど。9月になると、それがクラスでも自然と始まるようになりました。最近のお気に入りには氷鬼です。「やってみようかな」と輪に入っていき友だちが少しずつ増えています。ある日、鬼から逃げていた子が転んで泣いていました。私が駆け寄ろうとすると、一緒に氷鬼をしていた子たちがあちこちから「大丈夫!!」と駆け寄って行きました。4、5人の友だちが声を掛けて起き上がらせてくれて、その子の涙もすっかり止まりました。一緒に過ごしてまだ数ヶ月ですが、子どもたちにとっては「大切な友だち」になっていることを嬉しく感じました。

もうすぐ運動会。みんなが好きなトムとジェリーごっこを競技にする予定です。友だちの存在を感じながら、ちゅうりっぷ組らしく楽しみたいと思います。



## たんぽぽ組

友だちと力を合わせ、みんなの気持ちを考えて

たんぽぽ組はクラス競技で、ボール運びを行います。2人で棒に吊るされたお皿の上にボールをのせて運ぶので、息を合わせてやらなければなりません。でも回数を重ねるうちに、段々とコツを掴んできて、スピード勝負を競うようになりました。勝つと大喜びなのはわかりますが、負けた相手に、「負け～」と大声で叫んだりする姿もあり、段々と殺伐とした雰囲気になってきました。

そこで、2学期から話している、ふわふわ言葉とチクチク言葉をもう一度みんなで考えました。「みんなが嫌な気持ちになるのはチクチク言葉だから、チクチク応援はやめよう」とみんなで話をしました。クラス競技を通して、友だちと力を合わせることやクラスみんなの気持ちも考えられるようになれるといいなと思っています。

## すみれ組

「できっこないをやるんだよ！」

今年の運動会では、応援合戦で「できっこないをやらなくちゃ」を踊ります。あまり子どもたちには聴き馴染みのない曲かもしれませんが、「あきらめずに挑戦してほしい」という願いを込めて決めました。言葉の意味について話したり、自由遊び中に曲を流したりしているうちに、少しずつ子どもたちの中にも広がっていき、ロズさむ子も出てきました。

ある日のリレー練習の時、赤白それぞれのチームで作戦会議をしていると、あることをきっかけに「できない！」と言う子がいました。その言葉を聞いてすかさず、「できっこないをやるんだよ！」「あきらめなければできるようよ！」と友だち。このような姿があらゆる場面で見られるようになりました。この言葉を受けて、「そうか、やってみよう！」と思い行動に移す子もいれば、プレッシャーに感じて、素直に受け止められない子もいます。それでも、きっと一人一人の中で葛藤をしながら、たくさん考え、勇気を出して少しずつ挑戦しているところだと思います。ドキドキしながらもやってみて、できたことに喜びを感じているすみれ組。この時間がきっとかけがえのない経験になっていることを願っています。

# わが家のまど



(288) なんちゃってDIY

たんぽぽ組担当 森重 路子



夫の亡き父は、建具職人だった。義父の作った棚や引き出しは、今も我が家で活躍している。頑丈かつ丁寧な作りで、今も軋むことなく、滑らかな滑りの引き出しは、見事だ。その義父が仕事を畳む時、商売道具である工具を譲ってくれた。電動丸鋸、電動ドリル、その他たくさんの工具。夫もその工具を使って棚や、傘立て、外物置、ウッドデッキなどを作った。が、ここしばらくは工具も物置きで眠っていた。

数年前から、「もしかしたら私もできるかも」と道具を使って不器用ながら「なんちゃってDIY」にチャレンジしている。最初は、壁付コート掛け。その後は、必要に迫られて、ベランダの塀の補修、ウッドデッキ貼りなど。今回は、わが家のゴミステーションの棚をキッチン脇のベランダに取り付けた。義父の大切な道具で、この仕上がりは、申し訳ない品物だ。でもわが家のピッタリサイズで、必要な機能の物ができ上がるので、満足している。義父さんの足元にも及ばないが、少しずつ道具をうまく扱えるようになって、楽しくDIYができるのは、義父さんのおかげ。大切に使っていきたい。



# 今月の聖書のおはなし



## ☆ 10月6日「フランシス物語（創立記念日より）」

10月4日は初雁幼稚園の開園記念日です。また、その日は「聖フランシスの祝日」でもあることから、毎年10月4日前後の全体礼拝で、聖フランシスの話をしています。幼稚園のホールのピアノの近くの壁に飾られている絵は聖フランシスの肖像画です。また、幼稚園の隣りにあるお家はフランシス館と言います。聖フランシスは幼稚園と深いつながりがあります。

## ☆ 10月13日「モーセ物語Ⅲ過越とエジプト脱出」

出エジプト記 12:1~14:31

モーセはエジプトで奴隷になったユダヤの民を解放するよう訴えましたが、エジプト王であるファラオはユダヤの民を解放するのを断ります。そこで神様は、ファラオがユダヤの民を解放するまで、10の災いをもたらします。最後の災いの前に、神様はモーセに「扉に印がない家にその災いをもたらす」と伝え、モーセはユダヤの民に扉に印をつけるように指示しました。こうしてユダヤの民は、扉に印をつけたことでその災いを受けずに済んだ、つまり「過ぎ越した」ということが「過越」の名前の由来です。この災いにより長男を失ったファラオは、ついにユダヤの民を解放しました。しかし解放からわずか3日後、ファラオは軍隊を率いてモーセたちを追い詰めます。そしてモーセたちが紅海に追い詰められたとき、モーセは杖を上げて海を割り、ユダヤの民のための道を作りました。

## ☆ 10月20日「サムソン物語Ⅰサムソンの誕生」

士師記 13:1~25

イスラエルの人たちがペリシテ人に支配されていた時のお話です。マノアとその奥さんには子どもがいませんでした。ある日奥さんのところに神様の使いが現れて言いました。「あなたには今まで子どもがいませんでしたね。でももうしばらくすると赤ちゃんが生まれます。だからこれからはお酒を飲んだり、汚れたものを食べたりしては行けません。生まれる子どもは神様のために働くように決められています。この子の髪を切ったり、剃ったりしては行けません。この子はやがてイスラエルを救う人になりますよ。」奥さんはがそのことをマノアに話したところ、マノアのところにも神様の使いが現れ同じ話をしました。その後奥さんは神様の使いがお話してくれたことを守りながら過ごし、やがて男の子が生まれサムソンという名前をつけました

## ☆ 10月27日「サムソン物語Ⅱサムソンとデリラ」

士師記 16:4~31

神様はサムソンに誰にも負けない強い力をお与えになりました。ペリシテ人もサムソンにだけはかないません。ペリシテ人はサムソンの恋人デリラを買収して怪力の秘密を聞き出します。それは「神様との約束で、髪の毛を剃ると力が弱くなる」というものでした。デリラはサムソンが眠っている間に髪の毛を剃ってしまいます。力が抜けたサムソンはペリシテ人に捕らえられ、牢の中で神様の御心から離れて生きてきた自分を反省します。

サムソンの髪の毛がだんだんと伸びていたある日、サムソンはペリシテ人の祭りの見せ物として連れて来られました。サムソンが神様に「どうぞ私を赦して力を与えてください」と祈り、寄り掛かっていた2本の柱を思いっきり押すと、柱は折れ、建物は崩れ落ち、そこにいたペリシテ人は全員下敷きになってしまいました。